

## 1. 適用規則

RRS 2009-2012、本帆走指示書、レース公示

## 2. 参加者への通告

a) 競技者への通告は、シーボニア内レース本部(クラブハウス・1F 奥)に設置される公式掲示板に掲示される。

b) 帆走指示書の変更は、レース本部の公式掲示板にスタート予定時刻の2時間前までに掲示する。海上で帆走指示書を変更する場合は本部艇より海上確認時に口頭で通告される。

c) 荒天による中止の場合は、公式掲示板による掲示以外に、近隣の各ハーバーへもFAXまたは電話にて通知する。海上集合後においては本部艇にN/H旗又はN/A旗(スタート前は、AP/A 旗又はAP/H旗)を掲揚するとともに、運営艇によりできるだけ各艇に通知する。ただし通知がレース艇に伝わるかどうかについてレース運営者は責任を持たない。

## 3. 出艇申告書の提出

a) 出艇申告書は艇長会議時に提出する。

b) クルーリストの変更は、書面にて7月17日10:00までにレース本部に届ける事。FAX可。

c) 出艇申告をしたにもかかわらずスタートしなかった艇は、その艇の責任者が速やかにレース本部に届ける事。

## 4. 海上確認

レース艇は10時40分までに、L旗を掲げた本部艇の後方を自艇の右舷を本部艇に見せて通過し(安全のため厳守すること)、確認を受けなければならない。確認時には必ずセールナンバーを表示する事。

## 5. ライフジャケットの着用

レース艇の乗員は海上確認時に全員がライフジャケットを着用していなければならない。また当該クラスのスタートの予告信号からフィニッシュまたはリタイアするまでライフジャケットを着用していなければならない。ライフジャケットは検定品である必要はなく、自己責任において膨張式やフローティングジャケットでも良い。

## 6. レース艇の認識

a) 配布されるレース旗(JSAF 東日本支援フラッグ)を上、クラス識別旗をその下に、スターン付近のデッキより上方の目立つ位置に掲揚しなければならない。各クラス旗の色は艇長会議で配布されるエントリーリストに記される。

b) セールナンバーの無い艇はレース実行委員会支給のリコールナンバーをマストより前方のライフラインに掲示しなければならない。

c) ジブセールとメインセールなど同一の艇に違うセール番号を表示してはならない。そのようなセールを使用する場合は明確に取消線などを表示すること。

## 7. レース日程

2011年7月17日(日)

10:45 第1グループ予告信号(シーボニアレーティングクラスA、の予定)

10:55 第2グループ予告信号(シーボニアレーティングクラスB、の予定)

11:05 第3グループ予告信号(IRC・ORCクラスの予定)

## 8. コース

a) コースは下記の通り。

\*シーボニアレーティング・クラスA IRC-A,B ORC クラス

スタート 長者ヶ崎沖マーク(反時計回り) フィニッシュの約10マイル。

長者ヶ崎沖マークのおおよその位置 北緯35度15分22秒 東経139度33分00秒

\*シーボニアレーティング・クラスB

スタート 秋谷沖マーク(反時計回り) フィニッシュの約6マイル。

秋谷沖マークのおおよその位置 北緯35度13分8秒 東経139度34分2秒

マークの位置はおおよその位置であり状況により多少ずれる場合もある。

b) 亀城礁灯台の東側を通過してはいけない。

## 9. マーク

黄色のブイを使用する。

秋谷沖のマークにはライトブルーの帯を巻く。秋谷沖で運営艇を代替マークとする場合、M旗と同時にクラス旗を掲揚する。

M旗を掲揚した運営艇を代替マークとする場合錨泊していない場合もある。

#### 10. スタート・ライン

スタート・ラインは、本部艇のJSAF旗を掲揚したマストまたはポールとリミットマークの見通し線とする。スタートラインは最後のスタートの10分後に消滅する。

#### 11. フィニッシュ・ライン

フィニッシュ・ラインは、本部艇または公式運営艇のブルー旗掲揚のポールまたはマストとマークの間とする。

#### 12. スタート方法

a) RRS規則26に従ってスタートは行われる。

【参考】

予告信号(5分前)	クラス旗掲揚	音響信号1声
準備信号(4分前)	規定のフラッグ掲揚	音響信号1声
1分信号(1分前)	規定のフラッグ掲揚	長音1声
第1グループ・スタート	クラス旗降下	音響信号1声

b) 予告信号の発せられていないクラスの艇はスタート・エリアから離れ、予告信号の発せられているクラスの艇を避けなければならない。(厳守)

\* 参考:I旗が準備信号として掲揚された場合:RRS規則30.1(I旗規則)を適用します。

スタート信号前の1分間に、艇体、乗員またはその装備の一部でもスタート・ラインまたはその延長のコース・サイドにあればその艇はスタートする前に、スタート・ラインのいずれかの端を回って、スタート・ラインのプレ・スタート・サイドまで帆走しなければならない。

#### 13. 個別のリコール

a) 個別のリコール艇があった場合、音響信号1声とともに、X旗を掲揚する。X旗はリコール艇のすべてが、スタート・ラインの延長線のプレ・スタート・サイドに完全に入るまで、またはスタート信号後4分後までのうち早い方まで掲げられる。リミットマーク付近の運営艇においても同じ信号が発せられる予定だが、本部艇により発せられる信号を正規のものとする。

b) RRS 30.1の違反については、OCSに代わる罰則として、5%のタイム・ペナルティーが課せられる。

#### 14. ゼネラル・リコール(RRS規則29.2の変更)

ゼネラル・リコールの場合は、音響信号連発とともに第1代表旗を掲揚する。(13項と同じくサービスとして運営艇(複数)より信号が発せられる予定。運営艇の信号は音響信号のみの場合もある。本部艇の信号が正規の信号である。)

ゼネラル・リコールになったクラスの新たなスタートは、1番最後に繰り下げられる。ゼネラル・リコール後の再スタートは運営上支障がない限り5分間隔で行うので、予告信号(クラス旗の掲揚)に注意すること。新たなスタートではI旗に変わり黒旗を使用することがある。黒旗規則で失格になった艇のセール番号を掲示する代わりに本部艇及び運営艇から通告する場合もある。(RRS規則30.3の変更)

#### 15. コースの短縮

a) コースの短縮は、回航マークにて行われる。シーボニア・ヨットクラブ旗を掲げた公式運営艇にS旗を掲げ音響信号2声を発する。公式運営艇のブルー旗を掲げたマストまたはポールと黄色のブイの間をフィニッシュ・ラインとする。

b) S旗と同時にクラス旗が掲揚されている場合、該当クラスのみコース短縮される。

c) コース短縮の公式運営艇は錨泊していない場合もある。

#### 16. タイム・リミット(RRS規則35の変更)

全艇15:00とする。15:00までにフィニッシュしなかった艇はD.N.F.とされる。スタート時刻が予定より遅れた場合、その分延長する。但し延長の場合も最終15:30とする。運営上の都合で時間内にフィニッシュできなかった艇に対してもホーンが鳴ることもある。

#### 17. 帰着申告

フィニッシュをもって帰着申告とする。スタートしたにもかかわらずフィニッシュしなかった艇は、速やかにその艇の責任

者がレース本部に連絡する事。全艇の確認が取れるまでまたはタイムリミットまで、本部艇は撤収しない。  
海上にてレースが中止又は延期になった場合、各艇は帰港後速やかにレース本部に帰着申告をしなければならない。シーボニア以外へ帰港した艇は電話でも受け付ける。艇名、連絡者名、艇体乗員の状態を報告すること。(厳守)

#### 18. レースの成立

各クラスのトップ艇のフィニッシュをもって成立とする。

#### 19. 失格に代わる罰則

a) RRS 第2章およびRRS 31の規則違反については規則44.1 & 44.2を適用する。

\* (参考)航路権の違反をしたかもしれない艇は2回転、マークタッチに対しては1回転を直ちにレース艇から離れた所で行わなければならない。

b) プロテスト委員会は、上記a) 以外の規則違反に対して、失格に代わる罰則として所要時間に対して5%のタイムペナルティーを課すことがある。

c) プロテスト委員会は、規則違反が軽微だと判断した場合ペナルティー課さないこともある。

#### 20. 抗議(救済の要求)

a) 抗議(救済の要求)はRRS 61(RRS 62)に従い、かつ、フィニッシュ後速やかにフィニッシュ運営艇にその意思を伝えなければならない。抗議書はレース本部に、自艇のフィニッシュ後90分以内に提出しなければならない。

b) 審問の開始時間及び場所は公式掲示板に掲示し、関係者に通告される。抗議者・被抗議者及び証人は出席しなければならない。

#### 21. 成績の算出

a) シーボニアレーティング・クラス: レース委員会の設定した TMF により、タイム・オン・タイム方式により修正時間を算出する。

a-2) クラシックボート・クラス並びにホワイトセール・クラスはシーボニアレーティング・クラスとして計算しシーボニアレーティング・クラスと重複受賞することが出来る。

b) IRC クラス: TCC によるタイム・オン・タイム方式により修正時間を算出する。

c) ORC クラス: トリプルナンバーによるタイム・オン・タイム方式により修正時間を算出する。

d) 修正時間は秒単位までとし、同タイムとなった場合、ハンディキャップの低い艇を上位とする。

e) ハンディキャップは艇長会議で発表し、レイトエントリーなどやむをえない艇は公式掲示板に掲示する。ハンディキャップに対する抗議は認めない。

#### 22. 大会関係舟艇の識別

本部艇: シーボニアヨットクラブ旗+JSAF フラッグ

公式運営艇: シーボニアヨットクラブ旗

#### 23. 責任の所在

レース参加艇の乗員および艇体の安全若しくは事故(死亡・傷害・沈没・損傷等)については、その責任は全てレース参加艇が負うものとし、主催者ならびに大会関係諸団体は、その責任を一切負わない。

**レース本部** 〒238 - 0225 三浦市小網代1286シーボニアヨットクラブ、レストラン1階奥ヨットクラブ事務局

**TEL 046 - 882 - 1979**

**FAX 046 - 882 - 1968 (申し込み FAX ではありません。)**

本部艇 電話: 本部艇の電話は運営で使用しているため、緊急時以外使用しないで下さい。通常はレース本部にご連絡ください。TEL 090 - 5414 - 7115 090 - 9144 - 6459

本部艇: 携帯メール [free-t.21515@docomo.ne.jp](mailto:free-t.21515@docomo.ne.jp)(ふりー・はいふん・ていー・ぼつ・に・いち・ごいち・ご)